

平成28年度 事業報告書

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

公益財団法人 三井住友海上福祉財団

平成 28 年 度 事 業 報 告 書

I. 事 業

1. 概 要

当年度は、依然として続く低金利のため、新たな債券の購入による利息収入確保が難しくなる中、平成 28 年 7 月 4 日と平成 29 年 3 月 23 日に MS & AD インシュアランスグループホールディングスの株式 2.2 万株を追加購入。これら株式配当により事業規模を維持した。その結果、事業費総額は 4,661 万円となり、引き続き着実な事業活動を行うことができた。

当財団の事業は「交通安全等」と「高齢者福祉」を 2 本の柱としているが、助成事業付帯費 623 万円を除く助成金の分野別内訳は、交通安全等が 1,149 万円、高齢者福祉が 2,889 万円となった。

なお、当財団が昭和 50 年に発足以来の助成金の累計総金額は 22 億 9,577 万円、累計総件数は 1,975 件となっている。

2. 事業実績

当年度の事業分野別、事業種類別の助成件数、助成金額は次のとおり。

(1) 交通安全等分野

	助成件数	助成金額(万円)
研 究	14	1,024
著作・論文表彰	1	30
普及・啓発	4	95
助成金計	19	1,149

(2) 高齢者福祉分野

	助成件数	助成金額(万円)
研 究	23	2,592
著作・論文表彰	1	30
施設・事業	3	267
助成金計	27	2,889

(3) 事業費合計（交通安全等＋高齢者福祉）

	助成件数	助成金額(万円)
研 究	37	3,616
著作・論文表彰	2	60
普及・啓発	4	95
施設・事業	3	267
助成金計	46	4,038
付帯費計		623
事業費合計（助成金＋付帯費）		4,661

3. 当年度の主な事業

当年度における助成内容、助成先および助成金額は別紙「事業一覧」のとおり。

(1) 研究助成

当財団の助成事業の中心は研究助成であるが、当年度についても合計 37 件、総額 3,616 万円の研究助成を行った。これは、助成金総額の 89.5%を占めている。

①国内研究助成

a. 応募と決定の件数

研究助成の応募件数、要望金額ならびに決定件数、決定金額は次のとおり。

	応募件数	要望金額(万円)	決定件数	決定金額(万円)
交通安全等部門	42	6,935	9	800
高齢者福祉部門	155	24,205	20	2,410
合計	197	31,140	29	3,210

b. 募集、選考および決定の状況

当年度は、平成 28 年 4 月 1 日から 6 月 30 日の期間で募集を行った。募集にあたっては、できるだけ広くから多数の応募を受けられるよう、「応募要項」を当財団のホームページに、また「応募要項要旨」を助成財団センター発行の『助成金応募ガイド』、大学病院情報ネットワーク（略称 UMIN）のホームページほかの媒体に掲載するなど、周知に努めた。その結果、合計 197 件（前年比 2 件増）と多くの応募が寄せられた。

交通安全等部門の選考委員会は 9 月 15 日に、高齢者福祉部門の選考委員会は 9 月 29 日にそれぞれ開催し、交通安全等については 9 件 800 万円、高齢者福祉については 20 件 2,410 万円を同委員会で選定したうえで、10 月 27 日開催の理事会に諮り、助成を決定した。当年度も幅広いテーマから水準の高い研究を選ぶことができた。

選考委員

交通安全等	高田 邦道（委員長）	日本大学名誉教授	交通工学
	鈴木 春男	千葉大学名誉教授	交通社会学
	関野 宏明	聖マリアンナ医科大学名誉教授	脳神経外科
	太田 博雄	東北工業大学名誉教授	交通心理学
	関根 太郎	日本大学理工学部教授	自動車工学
高齢者福祉	大内 尉義（委員長）	虎の門病院院長	加齢医学
	大泉 博子	元衆議院議員、元国際医療福祉大学客員教授	ソーシャル・ビジネス
	児玉 桂子	日本社会事業大学名誉教授	福祉生活環境学
	島崎 謙治	政策研究大学院大学教授	社会保障法・医療政策
	岩本 俊彦	国際医療福祉大学塩谷病院教授	老年病学

c. 研究結果の開示

平成 26 年度に助成した研究を中心に、合計 42 件の研究結果を収録した「研究結果報告書集 第 20 巻」（A4 判 164 頁）を 7 月に刊行した。

さらに、研究者等の便宜を図るため、同書の内容を当財団のホームページに掲載した。このほか国立情報学研究所の「学術研究データベース・リポジトリ(NII-DBR)」にも各研究結果報告書の要約を登録、公開した。

なお、これまでに当財団が助成決定した研究課題のリスト(助成研究課題、助成対象者および助成金額)は、当財団のホームページでの公開のほか、助成財団センターのホームページ「助成金情報」にも登録、公開を行った。

②海外研究助成

海外研究助成は平成19年度に三井住友海上アジア持株会社の協業を得て、東南アジアを対象地域として開始したが、当年度は前年度と同様、シンガポールとタイにおいて実施した。国内に準じた方法で募集・選考を行い、交通安全等5件、高齢者福祉3件、計8件、総額406万円の研究助成を行った。

(2)「三井住友海上福祉財団賞」－ 著作・論文表彰 －

交通安全等と高齢者福祉の分野での優れた著作・論文を表彰する「三井住友海上福祉財団賞」の募集を行い、交通安全等部門で2件、高齢者福祉部門で12件の応募があった。

- ① 募集対象期間 平成26年4月から同28年3月の2年間に発表された研究
- ② 募集方法 自薦および他薦
- ③ 応募期間 平成28年4月1日から6月30日まで

選考委員会は、前記の研究助成の選考委員会メンバーにて同日開催し、厳正なる選考を行った結果、財団賞については交通安全等および高齢者福祉の両部門ともに「該当者なし」となった。さらに同委員会にて、財団賞授賞には至らないものの今後の研究発展・深化が期待できる著作・論文として、下記の論文2点が選考された後、10月27日開催の理事会において、「財団奨励賞」の授賞と副賞各30万円の贈呈を決定した。

交通安全等部門「財団奨励賞」－論文1点－

著者：桜井 良太

早稲田大学スポーツ科学学術院・日本学術振興会 特別研究員

題名：地域在住高齢者における自転車関連事故発生率とその傷害率—潜在的傷害事故の把握に向けた検討

高齢者福祉部門「財団奨励賞」－論文1点－

著者：中西 三春

東京都医学総合研究所 精神行動医学研究分野 心の健康プロジェクト
精神保健看護研究室 主席研究員・副室長

題名：Features of the Japanese national dementia strategy in comparison with international dementia policies:how should a national dementia policy interact with the public health and social care systems?

日本の国家的な認知症戦略における、国際的な認知症政策と比較しての特徴：国家の認知症政策はどのように公的な保健医療および社会サービスの体制と関連するべきか？

(3) 普及・啓発助成

当年度も、内閣府が主催する春・秋の全国交通安全運動に協賛して同運動用のポスターを寄贈したほか、交通安全フォーラム開催への協賛など4件、95万円の助成を実施した。

(4) 施設・事業助成

デイサービス利用者等の送迎用介助式福祉車両購入費用の補助として、3施設267万円の助成を行った。

4. 研究助成および財団賞の贈呈式開催

国内での贈呈式は、平成28年11月17日に六本木・住友会館において、「平成28年度研究助成」および「平成28年度三井住友海上福祉財団賞」の贈呈式を開催した。

交通安全等については高田邦道選考委員長から、高齢者福祉については大内尉義選考委員長から講評が行われた後、植村理事長から受賞者に表彰状、助成対象者に目録が贈呈された。引き続き財団奨励賞受賞者2名の記念講演が行われた。

海外研究助成の贈呈式は、平成29年1月19日にタイのバンコク、翌20日にシンガポールで開催した。

II. 理事会・評議員会

1. 理事会

- 第137回理事会 平成28年6月1日開催
 - 第1号議案 平成27年度事業報告および決算、並びに行政庁への定期提出書類承認の件
 - 第2号議案 平成28年度第1回助成事業承認の件
 - 第3号議案 第14回評議員会（定時）の招集承認の件
 - 第4号議案 「個人情報管理規程」並びに「職員情報取扱基準」の改定承認の件
 - 報告事項 理事長および専務理事の職務執行状況について（平成28年3月～5月分）他
- 第138回理事会 平成28年10月27日開催
 - 第1号議案 平成28年度第2回助成事業承認の件
 - 第2号議案 平成28年度研究助成事業承認の件
 - 第3号議案 平成28年度財団賞授賞承認の件
 - 第4号議案 第15回評議員会（臨時）の招集承認の件
 - 報告事項 理事長および専務理事の職務執行状況について（平成28年6月～9月分）他
- 第139回理事会 平成29年3月16日開催
 - 第1号議案 平成28年度第3回助成事業承認の件
 - 第2号議案 「平成29年度事業計画」および「平成29年度予算」承認の件
 - 報告事項 監事選任の件、理事長および専務理事の職務執行状況について（平成28年10月～平成29年2月）

2. 評議員会

○第14回評議員会 平成28年6月16日開催

第1号議案 平成27年度事業報告および決算承認の件

第2号議案 評議員選任の件

報告事項 理事長および専務理事の職務執行状況について（平成28年3月～5月）他

○第15回評議員会 平成29年3月16日開催

第1号議案 監事選任の件

第2号議案 常勤理事の平成29年度報酬承認の件

報告事項 「平成29年度事業計画」および「平成29年度予算」について、理事長および専務理事の職務執行状況について（平成28年6月～平成29年2月）

III. その他

1. 年次報告書の発行

年次報告書「一年のあゆみー2015年度年報」を平成28年7月に発行した。

2. 財団ホームページの全面刷新

平成13年5月に開設以来大きな改定を行っていなかった財団ホームページについて、平成29年1月に全面的に刷新した。

公益財団法人 三井住友海上福祉財団
平成28年度事業一覧

(1) 交通安全等

①研究助成

a. 国内

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
1	名古屋大学大学院 医学系研究科 発達・老年精神医学分野 講師	岩本 邦弘	精神障害者の自動車運転技能に関する研究:双極性障害を対象とした運転シミュレータによる実証的検証	80
2	(一財)日本自動車研究所 安全研究部 主任研究員	大谷 亮	交通安全に関する子どもの自己評価の発達と教育効果に関する研究	80
3	日本医科大学 千葉北総病院 救命救急センター 助教	齋藤 伸行	高齢交通事故患者の長期機能予後に関する前向き調査	130
4	横浜国立大学大学院 准教授	田中 伸治	潜在的な事故誘発危険性を有する路上駐車を対象とした市民参加型可視化システムの構築	100
5	高知大学教育研究部 人文社会科学系 教育学部門 講師	西脇 芳典	交通事故鑑定に資する光輝材を用いた自動車塗膜片の新規車種特定法の開発	100
6	公益財団法人 豊田都市交通研究所 主任研究員	樋口 恵一	高齢者講習結果を活用した高齢ドライバーの免許返納意向・事故歴の分析	50
7	豊橋技術科学大学 建築・都市システム学系 助教	松尾 幸二郎	タクシー運賃補助制度による高齢者免許返納の促進を通じた交通死亡事故の削減効果に関する研究	80
8	秋田大学大学院 理工学研究科 教授	水戸部 一孝	自転車・自動車のインタラクション可能な運転体験用シミュレータの構築と交通事故誘発リスクの検証	100
9	中部大学 応用生物学部 環境生物科学科 教授	南 基泰	高速道路における衝突事故防止のための野生動物の侵入要因解明と防止対策	80

b. 海外

10	Suranaree University of Technology Associate Professor	Vatanavongs Ratanavaraha	Analysis of driver and passenger injuries severity in rear-end crashed factor for Thai highway using Structural equation modeling (タイ高速道路での追突事故によるドライバーと搭乗者の傷害程度についての構造方程式モデリングを用いた分析)	50
11	Mission Faculty of Nursing, Asia Pacific International University PhD.Candidate	Petcharat Eiamla-or	Factors predicting clinical outcomes in patients sustain road traffic injury during the emergence phase. (交通事故で受傷した患者の緊急対応期における臨床転帰を予測する因子)	50
12	Faculty of Architecture, Chiang Mai University Specialist Lecturer	Zi Liang Huang	Creating a safer urban environment for tourist cyclists- a design study in Chiang Mai, Thailand. (旅行サイクリストのためのより安全な都市環境創り-タイ・チェンマイにおけるデザイン研究)	50
13	Mae Fah Luang University Lecturer	Surapong Uttama	Real-Time Traffic Light State Detection and Prediction for Driver Assistance (ドライバー支援のためのリアルタイムでの交通信号状況の探知と予測)	50
14	Nanyang Technological University PhD Student	Rojas Lopez, Maria Cecilia	Cyclist's visual behaviour and its effects on walking/cycling trips (サイクリストの視覚動作と歩行/サイクリングへの影響)	81

研究助成 小計 14件 1079万円
(内 三井住友海上アジア持株会社負担 55万円)

②著作・論文表彰

著者		題名	副賞 (万円)
早稲田大学スポーツ科学学術院 日本学術振興会 特別研究員	桜井 良太	【論文】 地域在住高齢者における自転車関連事故発生率とその傷害率 —潜在的傷害事故の把握に向けた検討	財団奨励賞 30

著作・論文表彰 小計 1件 30万円

③普及・啓発助成

No.	助成先	助成内容	助成金額 (万円)
1	(一財)日本交通安全教育普及協会	「交通安全ファミリー作文コンクール」募集ポスター作成費用	56
2	内閣府(共生社会政策担当)	「秋の全国交通安全運動」ポスター作成配付費用	7
3	交通安全フォーラム推進協議会	「交通安全フォーラム」協賛	25
4	内閣府(共生社会政策担当)	「春の全国交通安全運動」ポスター作成費用	7

普及・啓発助成 小計 4件 95万円

交通安全等 合計 19件 1,204万円

(内 三井住友海上アジア持株会社負担 55万円)

(2) 高齢者福祉

①研究助成

a.国内

No.	研究代表者	研究課題	助成金額 (万円)
1	東京都健康長寿医療センター研究所 老化制御研究チーム 健康長寿ゲノム探索研究 研究員 東 浩太郎	骨免疫・筋免疫を介するエストロゲンの骨粗鬆症・サルコペニア予防及び治療効果の解明	150
2	聖マリアンナ医科大学 解剖学機能組織准教授 池森 敦子	筋腎連関に着目した有酸素運動による高齢期慢性腎臓病の腎保護作用の検討	100
3	熊本大学大学院 生命科学研究部 神経精神医学分野 助教 石川 智久	地域在住高齢者の生活機能低下(フレイル)と認知機能低下との関連に関する大規模疫学研究	100
4	東京医科歯科大学 脳神経外科 講師 稲次 基希	高齢者脳神経疾患における超急性期からの積極的歯科介入の有用性の検討と、慢性期への連続した介入システムの確立	100
5	藤田保健衛生大学 総合医学研究所 難病治療学研究部門 講師 上住 聡芳	骨格筋内在性の間葉系前駆細胞を標的としたサルコペニアの予防・治療法開発	150
6	京都大学 臨床神経学 特定助教 江川 斉宏	脳内グリア前駆細胞の分化機構の解明と認知症への臨床応用	100
7	筑波大学体育系 准教授 大藏 倫博	独居生活が高齢者の身体機能, 認知機能, 抑うつに及ぼす影響に関する縦断疫学研究	120
8	国立がん研究センター 先端医療開発センター 精神腫瘍学開発分野 分野長 小川 朝生	認知症の身体合併症に対する治療方針を話し合う際意思決定を支援するプログラムの開発	100
9	山陽小野田市立 山口東京理科大学 准教授 木村 良一	アルツハイマー病に対する脳内アミン受容体阻害剤の効果	100
10	東京医科大学 組織・神経解剖学分野 助教 篠原 広志	アルツハイマー型認知症への応用を目指した海馬神経幹細胞の形成メカニズムの解明	100

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
11	東京大学 保健・健康推進本部 助教	田中 君枝	多様な血管病変における血管外膜微小血管増殖の調節機構の解明	100
12	東京都健康長寿医療セン ター研究所 老化機構研究チーム 研究員	津元 裕樹	シアル酸結合様式を区別したN結合型糖鎖解析による健康長寿マ ーカーの開発	150
13	千葉大学大学院 医学研究院整形外科 助教	中村 順一	高齢者大腿骨近位部骨折の骨折リスク予測を目的とした新鮮凍結屍 体における有限要素解析と力学試験	100
14	佐賀大学 医学部内科学講座 主任教授	野出 孝一	大学病院在宅医療支援部を活用した心不全連携機能の構築	120
15	東京都医学総合研究所 認知症・高次脳機能研究 分野 認知症プロジェクト 主席研究員	細川 雅人	アルツハイマー病の新たな発症メカニズムの解明と新規治療薬の創 出	140
16	東北大学病院 循環器内科学 院内講師	松本 泰治	超高齢社会で増加する高齢者・慢性心不全患者の心臓と脳の連関 —フレイル・認知機能・心理の治療前後の変化の検討—	140
17	東京都健康長寿医療セン ター研究所 研究副部長	三浦 ゆり	大規模長期縦断調査とプロテオミクス解析による初期フレイルのバイ オマーカー探索	200
18	就実大学 薬学部 教授	森 秀治	Damps 遮断に基づいた組織リモデリング病態の新規制御法の創成	100
19	奈良県立医科大学 眼科学教室 助教	吉川 匡宣	緑内障が生体リズムに及ぼす影響—高齢者 100 名の前向きコホート 研究ベースライン横断解析—	100
20	東京大学医学部附属病院 22 世紀医療センター 関節疾患総合研究講座 特任准教授	吉村 典子	長期観察高齢者住民コホートを用いたフレイルとロコモの実態と予防 に関する研究	140

b.海外

No.	研究代表者		研究課題	助成金額 (万円)
21	Department of Research SingHealth Polyclinics Senior Consultant/ Director	TAN Ngiap Chuan	MUSCLE-DM Study: <u>M</u> Uscle <u>S</u> trength in <u>C</u> ommunity <u>L</u> iving <u>E</u> lderly with <u>D</u> ialyzed <u>M</u> ellitus (糖尿病疾患の高齢居住者における筋力に関するスタディー)	81
22	Dept of Surgery, Yong Loo Lin School of Medicine, National University of Singapore Assistant Professor	Rufaihah Binte Abdul Jalil	Diagnostic potential of LyP-1 Peptide Aptamer for Atherosclerotic Plaques (アテローム性動脈硬化症のプラークについてのLyP-1ペプチドアプ タマーの診断可能性)	81
23	Singapore General Hospital Principal Clinical Psychologist	Kinjal Doshi	Singapore Activities of Daily Living Inventory (シンガポールにおける日常生活上の活動目録)	65

研究助成 小計 23 件 2,637 万円
(内 三井住友海上アジア持株会社負担 45 万円)

②著作・論文表彰

著者		題名	副賞 (万円)
東京都医学総合研究所 精神行動 医学研究分野 心の健康プロジェクト 精神保健看護研究室 主席研究員・副室長	中西 三春	【論文】 Features of the Japanese national dementia strategy in comparison with international dementia policies:how should a national dementia policy interact with the public health and social care systems? 日本の国家的な認知症戦略における、国際的な認知症政策と比較しての特徴:国家の認知症政策はどのように公的な保健医療および社会サービスの体制と関連するべきか?	財団奨励賞 30

著作・論文表彰 小計 1件 30万円

③施設・事業助成

No.	助成先	助成内容	助成金額 (万円)
1	社会福祉法人 ケアフル亀山	「介護自動車」購入費用(三重県亀山市)	67
2	社会福祉法人 西日本至福会	「介護自動車」購入費用(福岡県北九州市)	100
3	社会医療法人 友愛会	「介護自動車」購入費用(沖縄県豊見城市)	100

施設・事業助成 小計 3件 267万円

高齢者福祉 合計 27件 2,934万円

(内 三井住友海上アジア持株会社負担 45万円)

合計(交通安全等・高齢者福祉) 46件 4,138万円

(内 三井住友海上アジア持株会社負担 100万円)